

都立図書館所蔵資料の劣化調査について（概要）

都立図書館では、「資料保存委員会」が中心となって、現在までに3回にわたって劣化調査(劣化、変色、破損)やpH調査を行った。

- ① 平成10年度・・・和図書（児童書を含む）、和雑誌等の劣化調査（*1）
- ② 平成11年度・・・中国図書、朝鮮図書の劣化調査、行政資料のpH調査
- ③ 平成15年度・・・洋図書の劣化調査

(*1) 詳細な報告は都立中央図書館発行「館報 ひびや」149号。

なお、調査方法については、所謂「早稲田方式」で行った。それについての詳細は「早稲田大学図書館紀要」32号。

図書・行政資料劣化状況

館別	種別	所蔵冊数	サンプル数	サンプル比率	劣化比率
中央	和図書	852,122	2,275	0.27%	1.7%
	東京室行政資料	116,949	210	0.18%	0.5%
	中国図書	44,872	225	0.50%	0.0%
	朝鮮図書	11,256	110	0.98%	0.0%
	洋図書	98,394	629	0.64%	0.2%
日比谷	児童和図書	95,997	350	0.36%	7.7%
多摩	和図書	464,447	1,222	0.26%	0.2%
	行政郷土資料	90,932	172	0.19%	0.0%
合計		1,774,969	5,193	0.29%	1.3%

雑誌劣化状況

中央	和雑誌 (9301種)	372,040	496	0.13%	9.9%
日比谷	児童和雑誌(803種)	32,120	100	0.31%	25.0%
多摩	和雑誌 (5161種)	206,440	300	0.15%	5.7%
合計		610,600	896	0.15%	10.2%

行政資料 pH調査結果

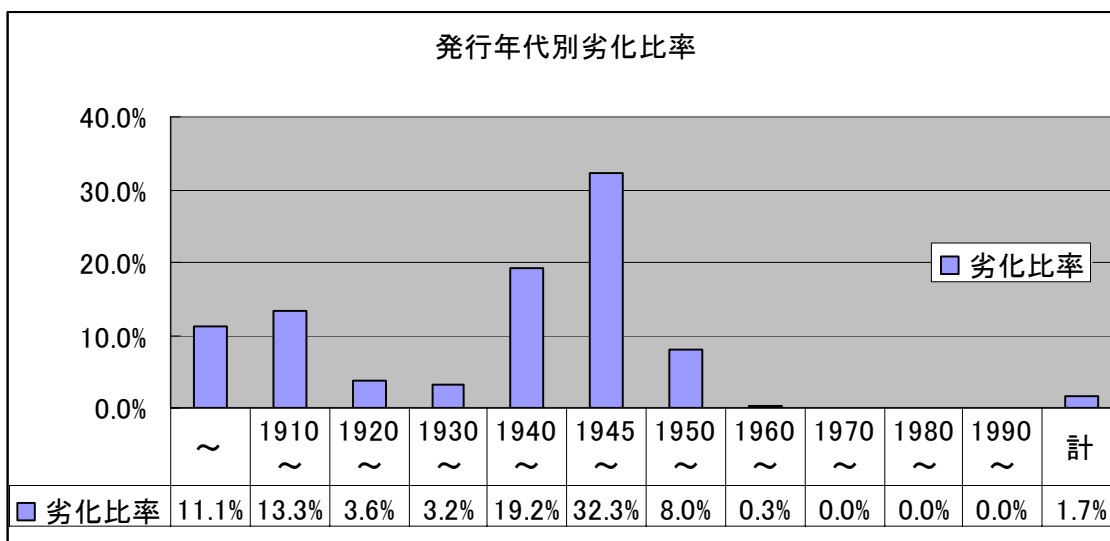
酸性紙比率

中央	都区発行	60,900	661	1.09%	72.6%
多摩	市町村発行	12,210	171	1.40%	71.3%

・データはいずれも調査時点

・「劣化」とは、劣化度の内、下位2段階のものとした。

参考1：中央図書館和書の発行年代別劣化比率



参考2：発行年代別・pH調査結果（東京室・都区発行）

